

1. 件名：確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する四国電力株式会社等との面談

2. 日時：令和2年2月19日（水）13：30～16：00

3. 場所：四国電力株式会社東京支社会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

検査監督総括課 布田検査評価室長、笠川室長補佐

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門 下崎技術研究調査官、伊東技術研究調査官、
濱口技術研究調査官、上田技術研究調査官、
藤本技術参与

四国電力株式会社 原子力本部

原子力保安研修所 原子力安全リスク評価グループリーダー 他2名

関西電力株式会社 原子力事業本部

原子力安全部門 安全技術グループリーダー

九州電力株式会社 原子力発電本部

リスク管理・解析グループ 課長 他1名

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

炉心・安全技術部 制御安全技術課 主席技師 他1名

一般財団法人電力中央研究所 原子力リスク研究センター

リスク情報活用推進チーム 上級研究員 他2名

5. 要旨

(1) 本年1月30日の面談に引き続き、原子力規制庁から提示した伊方発電所3号機の確率論的リスク評価（PRA）モデルに関する質問事項について、四国電力株式会社（以下「四国電力」という。）から、配布資料（1）に基づき回答があった。

(2) 原子力規制庁は、今回の面談により伊方発電所3号機のレベル1PRAモデルに対する質問に対する四国電力からの回答を全て確認した。

(3) 原子力規制庁は、伊方発電所3号機のレベル1PRAにおける成功基準解析について、精度良く解析ができる計算コードと評価対象のプラントの状態に対応したモ

デル及び入力データを用いた最確推定ではないことを指摘した。四国電力より、最確推定の成功基準解析は現在実施中であり、作業完了後に新しい成功基準解析結果をPRAモデルへ反映していく予定であるとの回答があった。

6. 配布資料

- (1) 事業者PRAモデル（伊方3号機）の適切性の確認のための質問事項への回答（レベル1PRA）（四国電力資料）